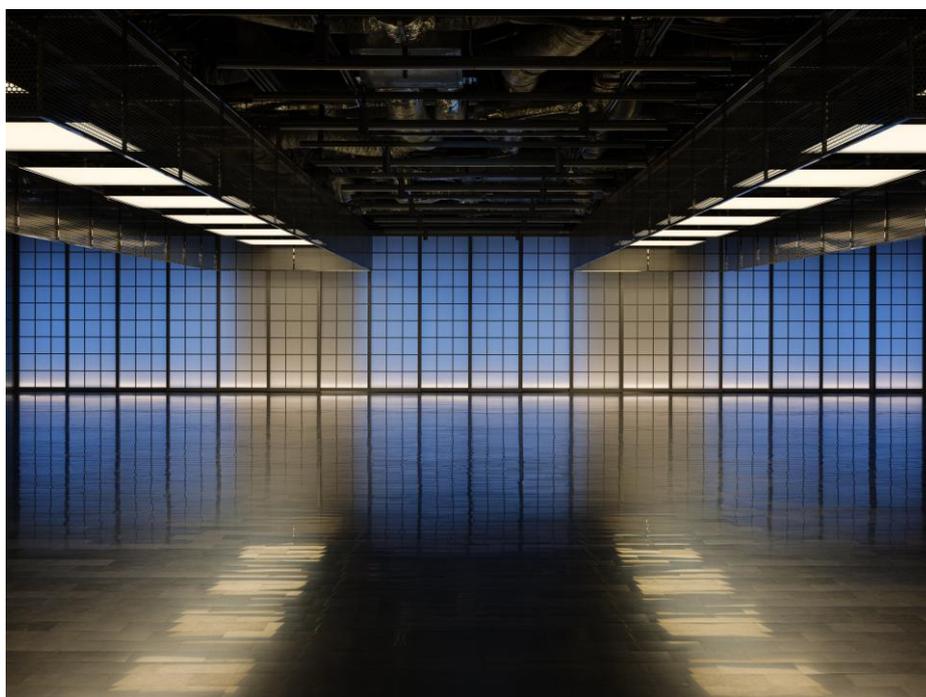


PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年3月3日
常石グループ株式会社

常石グループ 東京の新拠点「TATOU TSUNEISHI」がオープン 文化の発信基地となる新しい空間を落合宏理が監修、ULTRA STUDIO が設計



TATOU TSUNEISHI : 「余白」

常石グループ株式会社（本社所在地：広島県福山市、代表者：代表取締役社長 神原勝成）は、東京・日比谷に新拠点「TATOU TSUNEISHI」を開設し、3月9日（月）より順次業務を開始いたします。

本拠点は、従来の「オフィス」の枠を超え、社員や外部の多様な人々が集い、対話や交流を通じて新たな発想を生み出し、感性を磨くことを目的とした創造拠点です。

「TATOU TSUNEISHI」には、執務スペースとは別に『余白』という空間を設けています。講演会やトークセッションの開催が可能なほか、今後は「講演」「トークショー」「飲食イベント」など多様なプログラムを展開し、企業の枠を超えた文化的・知的交流の場として活用していく予定です。グループ社員に限らず、外部にも開かれた空間とすることで、新たな知見や感性を取り込み組織の創造性をさらに高めることを目指します。

また、拠点内には「TATOU LIBRARY」を新設しました。ブックディレクター 幅允孝氏が選書した15のジ

ジャンルの書籍を配架し、関連分野ごとに有機的なつながりを感じられる構成となっています。デジタルツールや AI を活用した日常業務とは異なる視点を取り入れる場として、あえて「紙の本」に触れる体験を重視しています。業務と直接結びつかない分野の書籍も幅広く揃え、既存の枠組みを超えた視点や発想の広がりを生み出すことを意図した空間づくりを目指しています。



TATOU LIBRARY (タトウライブラリー)

本拠点の開設は、2025 年 1 月に発足した「ツネイシデザインプロジェクト」の一環です。常石グループは「デザイン」をグループ共通のキーワードに掲げ、完成と想像力を重視したブランド確立と未来価値の創造に取り組んでいます。

常石グループ株式会社 代表取締役会長 グループ CEO 河野仁至は次のように述べています。

「TATOU TSUNEISHI では、『余白』という概念を核に、自由度の高い空間づくりを行いました。この場所が、集う人々の想いや感性によって生まれ、新たな発想と想像を生み出す拠点へと発展することを期待しています。」

■TATOU TSUNEISHI 概要

名称	TATOU TSUNEISHI
所在地	東京都千代田区有楽町一丁目 13 番 2 号 第一生命日比谷ファースト 7F
面積	1,163.54 m ²
監修	落合宏理 (常石グループ チーフ・デザイン・オフィサー)
設計デザイン	ULTRA STUDIO
着工開始	2025 年 9 月 20 日 (土)
竣工日	2026 年 2 月 28 日 (土)

入居事業会社：[常石グループ株式会社](#)、[神原汽船株式会社](#)、[常石造船株式会社](#)、[ツネイシカムテックス株式会社](#)、[株式会社せとうちクルーズ](#)、[神原ロジスティクス株式会社](#)、[常石三保造船株式会社](#)、[株式会社ホール](#)



■「TATOU TSUNEISHI」名前の由来

日比谷に、常石グループ 10 社が一堂に会する拠点が構想されました。分散していた各社をつなぎ、「ワンツネイシ」としての一体感を醸成する場となることを目指しています。

名称および空間コンセプトの着想源は、グループの原点であり象徴でもある「瀬戸内海」です。工業的素材の持つ質感や光の表情を、水面の反射になぞらえることで、「海」と「工業」という二つのアイデンティティを融合させました。

また、本拠点の中心には、用途に応じて柔軟に姿を変える「余白」の空間を配置しています。この「余白」から新たな発想やつながりが生まれ、広がっていくことを願い、本拠点を「TATOU TSUNEISHI」と名付けました。TATOU/多島は瀬戸内海の風景の特徴をあらわす「多島海」からとりました。

〈ULTRA STUDIO（ウルトラスタジオ）・設計デザイン〉

向山裕二、上野有里紗、笹田侑志からなる建築コレクティブ。2013年に結成、日本とヨーロッパで経験をつみ、2018年より東京をベースに活動を開始。プロジェクトに含まれる矛盾や葛藤を拡大解釈し、アイデンティティの再定義と本質的なストーリーの構築を行う。そこから見出される象徴的なかたちと、装飾的な要素・色彩を組み合わせることで、感情に訴えかける空間をめざしている。

〈落合宏理（おちあい ひろみち）・監修〉

1977年東京都生まれ。文化服装学院卒業後、2007年に「FACETASM（ファセッタズム）」を設立。2016年に毎日ファッション大賞・大賞を受賞し、同年のリオ五輪閉会式「フラッグハンドオーバーセレモニー」の衣装制作を担当。2021年よりファミリーマート「Convenience Wear」のクリエイティブディレクターを務め、2025年1月に常石グループ チーフ・デザイン・オフィサー（CDO）に就任

【常石グループについて】

常石グループは1903年の海運事業創業以来、ばら積み貨物船を中心とした新造船建造から国内最大規模の修繕ネットワークを擁する造船事業、国際海上物流サービスを提供する海運事業、付加価値を創造し、地域・社会に貢献する商社・エネルギー事業、廃棄物の再資源化から循環型社会の実現を目指す環境事業、瀬戸内地域の魅力を再構築し顧客体験を提供するライフ&リゾート事業など、5つの分野で「未来の価値を、いまつくる。」をスローガンに、常に時代の先を見据えながら、まだ世の中にない唯一無二の価値を生み出していきます。また、2025年に新たに設立した社会貢献推進部を通じて、地域貢献活動へのサポート拡大をおこなっていきます。

本社所在地：広島県福山市沼隈町常石 1083 番地

代表者：代表取締役社長 神原勝成

企業サイト：<https://www.tsuneishi-g.jp/>

－ 本件に関するお問い合わせ先 －

常石グループ株式会社

コーポレートコミュニケーション部

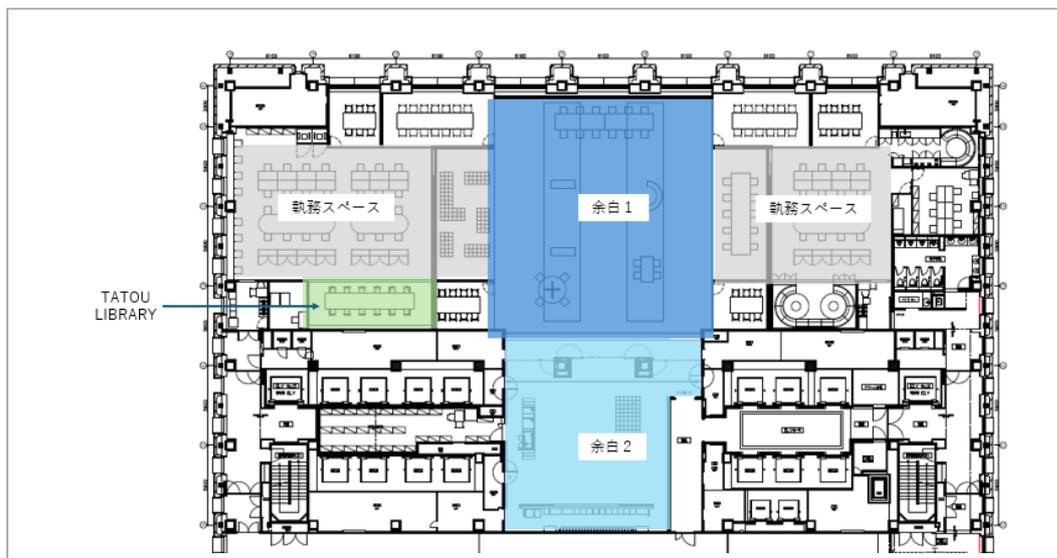
メール：pr@tsuneishi.com

TEL：084-987-4915



ツネイシ×瀬戸内を形にした TATOU TSUNEISHI

東京に新たにオープンした「TATOU TSUNEISHI」は、グループの礎となってきた「瀬戸内の海」「工業」といった象徴的な要素を掛け合わせ、ブランドの原点を体現する空間づくりがなされています。ULTRA STUDIO がかたちにしたこだわりを紹介します。



余白 1



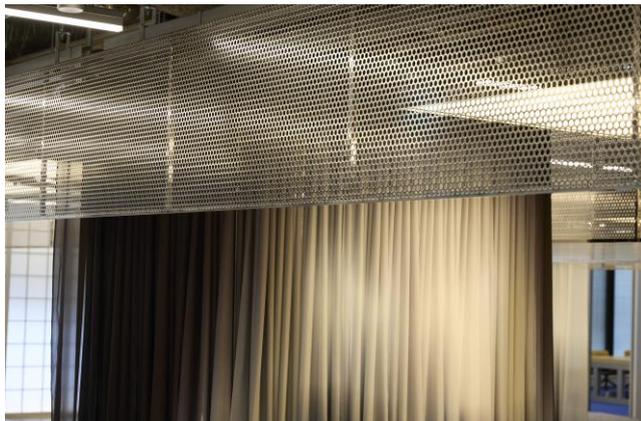
◀ 〈昼間の海面〉

「東京に瀬戸内海を造る」をコンセプトにした余白 1 の床には 15×30cm 角のステンレスパネルを採用。互い違いに張り込むことで生まれる手仕事のわずかな差異が光を繊細に反射し、床面は晴れた日の水面を思わせる揺らぎを帯びます。

〈柔らかな陽射し〉▶

中央に設置された膜張りの照明は、均一でまぶしさを抑えた光を柔らかく放ち、空間全体に、まるで屋外にいるかのような伸びやかな開放感をもたらします。



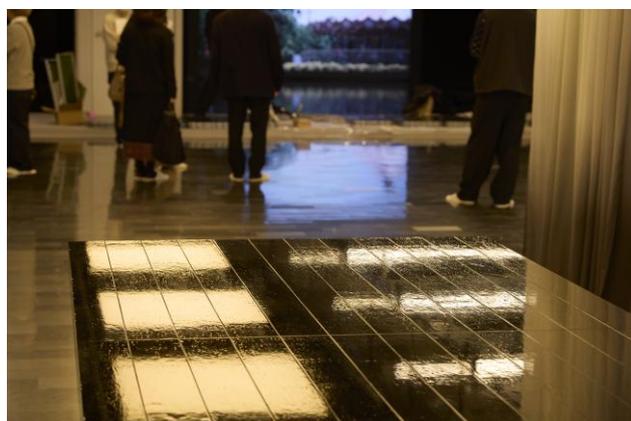


◀ 〈瀬戸内の時間の移ろい〉

中央に吊るされたカーテンには、瀬戸内の朝から夕暮れへと移ろう風景が、一枚の中にパノラマのように閉じ込められています。眺める時間帯や広げ方によってもその表情は変化し、空間に多彩なニュアンスをもたらします。

〈縁側テーブル〉 ▶

漆のような質感で塗装された大きなテーブルは、寺社建築の「縁側」をイメージして制作。脚部は木組みを思わせる意匠とし、床面と呼応する銀色に塗装することで、和の趣と工業的な表情を併せ持つデザインに仕上げています。銀の海に浮かぶ家具は、すべてオリジナルで制作されたものです。空間を柔軟に活用できるよう、いずれも可動式としています。



◀ 〈対岸とのつながり〉

また、余白1を挟んだ両側の執務部分が分断されないよう、天井からパンチングメタルのシェードを配し、視覚的な連続性を生み出す工夫も施されています。

〈和の趣と工業の融和〉 ▶

窓部にはめ込まれた障子の格子は、床材と呼応するよう銀色に塗装。和の趣を宿しながらも、どこか工業的な表情を帯びています。



余白 2

〈瀬戸内の岩〉▶

余白 2 の壁面には、常石グループのツネイシカムテックスが生産するゴミ焼却後のスラグ由来の素材「アークサンド」と左官材を混合し、吹き付け仕上げを施しています。瀬戸内の岩肌を思わせる、豊かな質感を表現しました。



◀ 〈夜の海面〉

床には OA フロア（コンクリート床の上に専用パネルを敷き詰め、二重構造によって床下に配線空間を設ける床材システム）を採用。黒の塗料を塗布するというシンプルな加工により、光を受けると床面がまるで瀬戸内の穏やかな海面のように揺らめきます。

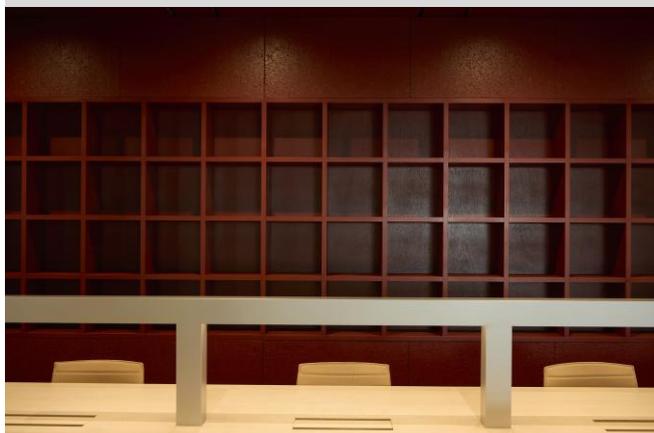
〈瀬戸内の海水が作り出した表情〉▶

余白 2 に設置された大きなカウンターには、石膏系素材「ジェスモナイト」を基材に、壁面と同様の再生素材「アークサンド」と鉄粉を混合したマテリアルを採用しています。その表面には、瀬戸内海から取り寄せた海水を塗り込み、鉄分を自然に酸化させる仕上げを施しました。時間とともに生まれる酸化の作用により、自然が描き出す多彩な色彩のグラデーションが浮かび上がります。





TATOU LIBRARY



〈TATOU LIBRARY〉

室内に設けられたライブラリーには、ブックディレクターの幅允孝氏が選書した15のジャンルの書籍を配架しています。選書内容はもちろん、並べ方にも工夫を凝らし、関連分野ごとに有機的なつながりを感じられる構成としています。蔵書は定期的に見直され、LIBRARY そのものも常に進化し続けます。



執務スペース



常石グループ10社の東京スタッフが常駐する執務スペースは、フリーアドレス制を採用しています。天井には余白1と同じパンチングメタルを照明ラインに沿って施工し、水平のラインを奥へ連続させることで、広がりのある一体的な空間を演出しています。

大きなデスクは福山本社からの出張者にも柔軟に活用できる環境を整えています。